

令和6年度第3回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

| | |
|--------|--------------------------|
| 日時 | 令和6年8月30日(金) 14:40~15:10 |
| 場所 | 釧路市観光国際交流センター |
| 出席委員 | 21名(うち代理出席1名) 欠席12名 |
| 事務局 | 4名 |
| オブザーバー | 1名 欠席2名 |

1 開会

2 議事

【協議事項】

(1) バス路線の運行計画の変更について 資料1・2 参考1~3

・事務局より説明

【原委員より補足説明】

・主な内容としては、白糠線の系統の再編と新富士新野線・イオン新富士線の調整です。
・白糠線に関しては、数年前より徐々に減便をさせていただいていた中で、朝に釧路駅前方面から大楽毛方面へ向かう便が手薄になってきており、阿寒高校や釧路高専に通う方が乗車する時間帯に、鶴野支援学校へ通う方が多く混乗し、阿寒高校に行きたいけど、乗り切れなかったという事例が何件ありました。

・7月に鶴野支援学校に赴き、実情を確認したところ、釧路駅前からの通学に関して不安要素があるとのことでしたので、参考1の時刻表にある通り、釧路駅前発7時55分の便については、学校のある日は鶴野支援学校の方を経由することとし、問題解決のために阿寒バス様と調整をしております。

・また、釧路駅前発19時の便は利用が少なく、白糠まで行かれる方はほとんどおりませんでしたので、2024年問題の関係もあり、減便をさせていただいております。阿寒バス様の系統で、釧路駅前発19時15分の鶴居線が鳥取大通り9丁目辺りまでは、ほとんど同じ経路で運行しているため、こちらを代替路線として使用していただければと思います。

・新富士新野線に関して、変更前の新野団地発7時25分の便は通学で利用する方が多いので、鶴ヶ岱線の大楽毛分岐発7時20分の便を新野団地まで延ばし、始発を7時15分として新野団地を出発し、各学校を回ったのちに最後市立病院へ行くような代替を用意することで、利用者に影響が出ないよう計画をしております。

(秋里会長)

・プラスの面やマイナスも面を含めて、学校や病院のために利用する方々への影響が少なからずあると思いますが、その辺りについては各学校との話し合いの中で進めている認識でよろしいでしょうか。

(原委員)

・問題ありません。

(秋里会長)

・先ほど原委員から通学利用の便が混雑しているというお話がありましたが、バス事業者様自体を取り巻く状況も厳しい中で、交通の足を守るという観点からは、逆に工夫をしていただいているというような理解をしてよろしいでしょうか。

(原委員)

・高校へ通う方の数は減少している状況ではありますが、鶴野支援学校に通う方の数は増加しているので、通学には支障のないようダイヤを考えてまいります。

(秋里会長)

・音別方面の系統については、JRの利用も可能だというダイヤということでしょうか。

(原委員)

・その通りです。

(秋里会長)

・朝と夜の便の設定については、一番利用者が頼りにするところである一方で、2024年問題の関係で運転人員の配置の難しさもあり、どのように折り合いをつけていくかという点が重要だと思いますので、引き続き地域の声を聞きながら進めていければと考えております。

【その他】

(1) 地域公共交通に係る要望活動について 資料3

・事務局より説明

～質疑なし～

(2) 事務局より情報共有（貝塚地区駐輪場の整備完了について）

・事務局より説明

～質疑なし～

・全体を通して質疑

(吉田委員)

・先日釧路新聞の方にバス待合所の設置を取り上げていただきました。くしろバス様、阿寒バス様ご協力いただきありがとうございました。土地の関係など難しい問題はありますが、空港連絡バスや都市間バスが停まるようなところは、やはり屋根があって、そこま

では頑張って歩こうと思えるような待合所がいくつかできればいいと考えております。待合所ができることで利用が促進されたり、おしゃれな外観にすることでバスを待つことに恥ずかしさを感じづらくなると思うので、商店街としてもこのような活動を続けていきたいと考えております。

・もう一点、自分の家から公共交通機関を利用して出かける際に、バス、タクシー、JR それぞれ何時の便に乗って、運賃はいくらかかるか調べられるようなものを作ることができれば、もう少し分かりやすくなるのかなと思います。

(秋里会長)

・鳥取分岐の待合所は、民間事業者様やバス事業者様にご協力いただくことで実現できたことだと思います。利用される方の多寡以上に多くの方がバスのことを考えていると感じることのできる象徴が、あのバス待合所なのではないかと思っております。

・吉田委員からお話があったように、自宅から乗ることのできる路線を把握するような仕掛けや呼びかけを何か工夫できないか皆さんで協力して考え、少しでも利用促進につなげていくことができればと考えております。

3 閉会

(秋里会長)

- ・ 以上を持ちまして、「令和6年度第3回釧路市地域公共交通活性化協議会」を終了いたします。